

現場説明書

1 工事名 北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事
2 監督員 都市部 公共建築課 (建築)
(電気設備)

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証 要 ~~不要~~

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
- (2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
- (3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、市長が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
- (4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
- (5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

3. 前払金について

前払金 する ~~しない~~

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

4. 中間前払金について

中間前払金 する ~~しない~~

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

5. 部分払について

部分払 ~~する(一回以内)~~ しない

6. 継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

~~(1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。~~

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度 (年度)	%	支払限度額 ・ 請負代金額 の %
第2年度 (年度)	%	支払限度額 ・ 請負代金額 の %
第3年度 (年度)	%	支払限度額 ・ 請負代金額 の %

~~(2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。~~

7. 契約に関する事項について

(1) 契約図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とじし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

- | | |
|------------------|---|
| ア 請負代金内訳書 | 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要 |
| イ 工 程 表 | 要提出(契約締結後7日以内)
提出不要 |
| ウ 着 手 届 | 着手後5日以内に提出すること。 |
| エ 現場代理人及び主任技術者等届 | 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。 |
| オ 下請負関係書類 | 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
・ 施工体制台帳
・ 施工体系図
・ 再下請負通知書(再下請負の発注がある場合) |
| カ 直 営 工 事 届 | 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。 |

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

- | | | |
|-----------|----|----|
| ア 支 給 材 料 | あり | なし |
| イ 貸 与 品 | あり | なし |

(5) 条件変更等の関係

工事の施工にあたり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続きを行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

- | | | |
|-----------|----|----|
| 部分引渡し指定部分 | あり | なし |
|-----------|----|----|

(8) 火災保険等の関係

- | | | |
|----------------|----|----|
| 火災保険その他保険の付保条件 | あり | なし |
|----------------|----|----|

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ＞入札の広場＞入札情報ポータルサイト＞入札制度関連情報において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンスの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済(以下「建退共」という。)に加入するとともに、その建設業退職金共済制度の対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼り付けること。
- (2) 請負者は、当初請負代金額が500万円以上の場合は、建退共の発注者用掛金収納書を貼った「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第1号様式(建退共))、「建設業退職金共済関係提出書」(第2号様式(建退共))、「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に監督員に提出すること。ただし、この制度に代わる退職金共済等に加入している場合又は対象労働者がいない場合については、内容を記載した「確認書」(第4号様式(建退共))を契約締結後1か月以内に監督員に提出すること。
なお、当初請負代金額が500万円未満の場合においても、本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係書類を提出しなければならない。
- (3) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を下請代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、当該下請負者の建退共加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (4) 下請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合、元請負者は建退共加入手続及び建退共関係事務の処理について、下請負者からの依頼には積極的に受託するよう努めること。
- (5) 請負者は、工事現場に建設業退職金共済制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。
- (6) 正当な理由がなく建退共に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は工事成績評定において考慮されることとなる。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事

イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事

ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ>入札の広場>検査情報に記載(別表)のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

(1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

(2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

(1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するよう配慮すること。

(2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について(別紙)

請負工事仕様書

工 事 名	北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事
工事場所	横須賀市長沢2丁目6番40号
工 期	261 日
工事概要	本工事は北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事 であり材料・手間共一式請負とする。
工事仕様	一般共通事項及び特記仕様書は別紙による。
工事内容	渡り廊下防水改修その他 ・ 防水改修 ・ 外壁改修 ・ 建具改修 ・ 内装改修 ・ 塗装改修 ・ 地業 ・ 外構 ・ 発生材処理 ・ 電気設備
注意事項	<ul style="list-style-type: none">・ 周辺道路及び指定場所以外は、駐車を含め使用を禁止する。・ 設計書の疑義は、本市の解釈による。・ 仕様書、別紙図面、内訳書に記載なき事項でも、工事上及び技術上当然必要ある資機材は補足し、遅滞なく工事を遂行し完了させること。・ 本工事起因による周辺道路及び周辺家屋の損害は、請負業者負担により速やかに復旧すること。・ 積算基準については公共建築課ホームページ https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4827/sekisankijyun/sekisankijyun257i.htmlをご確認ください。

建築工事 一般共通事項

令和2年4月1日

1. 一般事項

1) 共通仕様書の適用範囲

本工事は、本市契約規則等に基づき、特記によるほか、新增改築工事においては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）、（電気設備工事編）及び（機械設備工事編）－平成31年版－」、補修改修工事においては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）、（電気設備工事編）及び（機械設備工事編）－平成31年版－」に準拠する。

ただし、補修改修工事において、軽微で少量の施工個所で、安全上支障のない場合は、監督員と協議のうえ、上記仕様書に記載されている各工程の一部及び試験などを省略することができる。

2) 軽微な変更

現場の納まり、取合いなどの関係で材料の寸法、取付け位置又は取付け工法、あるいは数量等の増減で軽微な変更は市監督員（以下「監督員」という。）との協議による。

3) 本市指定様式

「横須賀市ホームページ」>「申請書ダウンロード」>「公共建築課の書式」にて掲載。（使用時に最新版を確認）

4) 官公署その他への手続き

工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行う。これに伴う費用は本工事の請負者（以下「請負者」という。）の負担とする。

5) 別記について

本工事にて特に必要な追加事項については別記として以下を本仕様書に添付する。

- 別記1 支給材料
- 別記2 貸与品
- 別記3 部分引渡し
- 別記4 部分使用
- 別記5 保険
- 別記6 返納すべき発生材
- 別記7 完成写真
- 別記8 メーカーリスト

2. 工事現場管理

1) 災害及び公害の防止

(a) 施工中の安全に関しては、建築工事安全施工技術指針を参考に常に工事の安全に留意し、現場管理を行い、災害及び事故の防止に努める。

(b) 工事用車輛の搬出入が頻繁な日時は専任の交通整理員を要所に配置し、付近住民及び施設利用者等の安全な通行に努める。

(c) 工事用車輛の搬出入に起因する現場付近の道路等の汚れは随時清掃し、本工事車両に起因する損傷箇所は速やかに復旧する。

(d) 作業に伴う騒音、振動、煤煙、ほこり等、又仮設物による電波、日照障害についてはあらかじめ配慮し、公害の防止に努める。

(e) 騒音、振動については、「建設工事公衆災害防止対策要綱」に準拠するとともに、関係法令を遵守すること。

2) あと片付け

工事完成に際しては、工事用用地及び仮囲いの外周（1.0m）を原形に復旧する。

3. 記 録

1) 材料の品質検査

材料の品質検査は使用前に市監督員の検査を受ける。又工事材料内訳書は本市指定様式により書面およびエクセルデータで提出する。

2) 工事報告書

工事報告書（工事出来高表、工事進捗写真、工事月報、工事日報）は市監督員の指示ある場合に、本市指定様式により毎月提出する。

3) 工事記録写真

工事記録写真は、監督員の指示により下記を表紙付き冊子（A4版）で提出する。
(a) 工事着手前の状況。
(b) 施工中の工事進捗過程（完成まで）。
(c) 施工状況で特に報告の必要のある場合。

4) 完成図、その他

本工事完成引渡しと共に、完成図書を「横須賀市都市部公共建築課機械、電気工事しゅん工図書電子化媒体作成要領書」（公共建築課HPに掲載）に基づき作成し提出する。また、当該施設に完成図書を2部作成し引き渡す。

4. 環境への取組み

(a) 請負者は、横須賀市環境マネジメントシステム(YES)の環境方針を十分理解して、工事現場から生じる騒音、振動等の建設公害、建設廃棄物の排出による処分場への負担、熱帯材型枠の使用による地球温暖化などの環境負荷を低減するために次に掲げる事項に留意して、地球環境の保全に資するよう努めなければならない。

(b) 無石綿（アスベスト）化への対応
使用建材については、アスベストが含有するものを使用しないこと。また、下請負者を使用する場合は、同様の内容を周知し、徹底を図ること。

1) 環境問題意識の啓発

請負者は、現場の職員、従業員及びこの工事に関連するすべての業者に対して工事管理会議などの機会を通じて、環境改善のための教育講習会を開催し、各人の環境問題意識の高揚に努めなければならない。
なお、監督員が指示した工事については、実施した教育講習会の内容を工事日報、工事監理日誌などに記録して監督員に提出する。

2) 廃棄物の適正処理等

請負者は、建設工事に伴い発生する廃棄物について、別添「建設廃棄物の取扱及び建設副産物実態調査に係る特記仕様書」に基づき発生抑制、再利用・再資源化、適正処理に努める。

3) 熱帯材型枠使用の削減

本工事で使用するコンクリート型枠用合板は、従前から使用している熱帯材を原料とする合板（熱帯材100%のもの）は使用しないものとする。
これに替わるコンクリート用型枠は、針葉樹林型枠、複合型枠（以下「複合合板型枠」という。）など熱帯材100%合板型枠以外のものから工事の作業条件等を考慮して、請負者の責任と費用負担により選択するものとする。又複合合板型枠を使用する場合は極力塗装仕上げをされたものを使用し、その型枠の転用（再使用）の増加を図る。

- | | |
|-----------------|--|
| 4) グリーン購入法 | 請負者は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」に基づき、環境負荷の低減に資する環境物品の調達に努める。
なお、監督員が指示した工事については、「グリーン購入実績報告書」（本市指定様式）を監督員に提出する。 |
| 5) フロン排出抑制法 | フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）に基づき、オゾン層の保護及び地球温暖化の防止に努め、工事により発生したフロン類廃棄物は適正に処理し、フロン類回収登録業者より処理受領証明書を受け監督員に提出する。 |
| 5. その他 | |
| 1) 工事表示板等の設置 | 公共建築工事(又は公共建築改修工事)標準仕様書によるほか、工事請負金額1,000万円(消費税を含む)以上の工事については工事表示板を、新築工事で100㎡以上のものについては工事看板を設置する。(表示板等仕様については「申請書ダウンロード」に掲載。) |
| 2) 公共サイン等の表示・設置 | 本工事の一部に公共サイン等の表示・設置が含まれている場合は、横須賀市屋外広告物条例第26条により屋外広告業の登録を受けた者又は、同条例第28条の6第3項により届出を行った者が行うこと。 |

別記 4

部 分 使 用

番号	建物、部屋等使用部分	数量	単位	使用条件	使用予定期間	備考
1	渡り廊下屋上、外壁及び床裏	1	式	部分使用検査及び外部足場解体	自 外部足場解体後 至 しゅん工日	部分使用に係る品質証明等の確認書類は検査対象
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						

金属管類及び 付属品	JISマーク表示品
合成樹脂管及び 付属品	JISマーク表示品
電 線 類	JISマーク表示品
耐火・耐熱電線	社団法人電線総合技術センター等の認定を受けた旨の表示があるもの
ケーブルラック・ レースウェイ	外山電気(株) ネグロス電工(株) パナソニック(株) 未来工業(株)
バスダクト	共同カイトック(株) 昭和電線ケーブルシステム(株) 住電機器システム(株) 古河電気工業(株)
高低圧配電盤・ 監視盤・分電盤 端子盤	宇賀神電機(株) 内山電機工業(株) 荏原電機工業(株) 大崎電気システムズ(株) (株)勝亦電機製作所 (株)かわでん (株)国分電機 (株)白川電機製作所 (株)新愛知電機製作所 (株)大日製作所 (株)東光高岳 中立電機(株) (株)東芝 東和電機工業(株) ハピネスデンキ(株) 日新電機(株) 日本電機(株) 富士電機(株) 古川電気工業(株) (株)別川製作所 三菱電機(株) 明工産業(株) (株)明電舎 横川コントロール(株) (株)ワイム
既成分電盤・ 既成端子盤	同上メーカーのほか、下記のもの 河村電器産業(株) 日東工業(株) パナソニック(株)
変 圧 器	愛知電機(株) (株)ダイヘン (株)東芝 (株)東光高岳 日新電機(株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機(株) (株)明電舎 利昌工業(株)
進相コンデンサ	(株)指月電機製作所 (株)東芝 ニチコン(株) 日新電機(株) パナソニック(株) 三菱電機(株) 利昌工業(株)
指 示 計 器	JISマーク表示品
保護継電器	オムロン(株) (株)東芝 光商工(株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機(株)
高圧用遮断器・ 開閉器	エナジーサポート(株) (株)東光高岳 (株)東芝 (株)戸上電機製作所 日新電機(株) (株)日立産機システム 日本高圧電気(株) 富士電機(株) 三菱電機(株) (株)明電舎
低圧用遮断器・ 電磁開閉器	河村電器産業(株) (株)新愛知電機製作所 寺崎電気産業(株) テンパール工業(株) (株)東芝 (株)戸上電機製作所 (株)日幸電機製作所 日東工業(株) パナソニック(株) (株)日立産機システム 富士電機(株) 三菱電機(株)
蓄 電 池	エナジーウィズ(株) (株)GSユアサ 古河電池(株) パナソニック(株)

ディーゼル機関 エンジン	いすゞ自動車(株) 川崎重工業(株) (株)クボタ コマツカミinzエンジン(株) (株)SUBARU ダイハツディーゼル(株) トヨタ自動車(株) 日野自動車(株) 三菱重工業(株) ヤンマー(株) UDトラックス(株)
ガスタービン エンジン	(株)IHI 川崎重工業(株) (株)神戸製鋼所 三菱重工業(株) ヤンマー(株) (株)東芝 (株)日立製作所
発 電 機	川崎重工業(株) (株)東京電機 (株)東芝 東洋電機製造(株) (株)日立製作所 富士電機(株) 三菱重工業(株) (株)明電舎 ヤンマー(株) (注)発電機出力100kVA以下のキュービクル式発電装置は、同上メーカーのほか、 (社)日本内燃力発電設備協会の認定証書が貼付されたもの
照 明 器 具	岩崎電気(株) NECライティング(株) オーデリック(株) コイト電工(株) シャープ(株) (株)スリーエス 大光電機(株) 東芝ライテック(株) パナソニック(株) 日立グローバルライフソリューションズ(株)三菱電機照明(株) (株)YAMAGIWA 山田照明(株)
配 線 器 具	JISマーク表示品
拡 声 装 置	(株)JVCケンウッド TOA(株) パナソニック(株) ユニペックス(株)
呼 出 装 置	アイホン(株) (株)ケアコム 竹中エンジニアリング(株) パナソニック(株)
電気時計装置	シチズンTIC(株) セイコータイムクリエーション(株) パナソニック(株)
テレビ共同受信 装置	(株)HYSエンジニアリングサービス シンクレイヤ(株) DXアンテナ(株) (株)東芝 日本アンテナ(株) パナソニック(株) ホーチキ(株) マスプロ電工(株) ミハル通信(株)
監視カメラ装置	ソニー(株) TOA(株) (株)東芝 (株)JVCケンウッド パナソニック(株) (株)日立製作所 三菱電機(株)
火災報知装置	ニッタン(株) 日本ドライケミカル(株) 能美防災(株) パナソニック(株) ホーチキ(株)
交換機・電話機	(財)電気通信端末機器審査協会等の認定を受けた旨の表示があるもの
避 雷 設 備	エースライオン(株) NIPエンジニアリング(株) 東京避雷針工業(株) (株)村田電機製作所
ロープ式 エレベータ	東芝エレベータ(株) 日本エレベーター製造(株) (株)日立製作所 日本オーチス・エレベータ(株) フジテック(株) 三菱電機(株)
油圧式エレベータ	ダイコー(株) 日本オーチス・エレベータ(株) 守谷輸送機工業(株) 横浜エレベータ(株)
小荷物専用 昇降機	大和エレベータ製造(株) 中央エレベーター工業(株) 日本エレベーター製造(株) 日本オーチス・エレベータ(株) 日本輸機工業(株) 菱電エレベーター施設(株) (株)日立製作所 三菱電機(株) 守谷輸送機工業(株) 横浜エレベータ(株)
太陽光発電設備・ 蓄電システム	京セラ(株) (株)GSユアサ シャープ(株) ソーラーフロンティア(株) (株)東芝 日本電気(株) パナソニック(株) 三菱電機(株) ソニー(株)
大型映像表示装置	ソニーマーケティング(株) 東芝EIコントロールシステム(株) パナソニックLSエンジニアリング(株) 三菱電機(株) セイコータイムクリエーション(株)

(五十音順)

建設廃棄物の取扱い及び建設副産物実態調査に係る特記仕様書

本特記仕様書は、建設工事から発生する廃棄物についての取扱い及び建設副産物実態調査に関する事項を定めるものであり、横須賀市が発注する工事に適用する。

I. 総 則

1 用語の定義

本特記仕様書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

- (1) 建設工事 土木建築に関する工事をいう。
- (2) 建設副産物 建設工事に伴い副次的に得られた物品をいう。
- (3) 建設廃棄物 建設副産物のうち廃棄物処理法上の廃棄物に該当するものをいう。
- (4) 建設資材 土木建築に関する工事に使用する資材をいう。
- (5) 建設資材廃棄物 建設資材が廃棄物処理法上の廃棄物となったものをいう。
- (6) 建築物等 建築物その他の工作物をいう。
- (7) 解体工事 建築物にあっては、当該建築物のうち構造耐力上主要な部分の全部又は一部を取り壊す工事をいい、建築物以外の工作物にあっては、当該工作物の全部又は一部を取り壊す工事をいう。
- (8) 新築工事等 建築物等の新築その他の解体工事以外の建設工事をいう。
- (9) 分別解体等
 - ア 解体工事の場合は、建築物等に用いられた建設資材に係る建設資材廃棄物をその類ごとに分別しつつ当該工事を計画的に施工する行為をいう。
 - イ 新築工事等の場合は、当該工事に伴い副次的に生じる建設資材廃棄物をその種類ごとに分別しつつ当該工事を施工する行為をいう。
- (10) 再資源化
 - ア 資材又は原材料として利用することができる状態にすること
 - イ 燃焼の用に供することができるもの又はその可能性のあるものについて、熱を得ることに利用することができる状態にすること
- (11) 対象建設工事 建設リサイクル法に規定する対象建設工事をいう。
- (12) 建設発生木材等 建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られた解体木くず、伐木材、伐根材その他の木材が廃棄物になったものをいう。
- (13) 建設リサイクル資材 「県土整備部公共工事グリーン調達基準」の別表第7に定める認定対象品目の資材をいう。

II. 建設副産物適正処理・再資源化に関する事項

工事の施工等にあたっては、まず建設副産物の発生抑制に努め、発生したものについては再使用、再生利用を徹底し、そして熱回収が可能なものは熱回収を行うことを基本として取り組むこととし、このための施工方法及び建設資材の選択等については積極的に提案すること。

1 施工前に取り組む事項

建設副産物の発生抑制、分別解体等、再資源化等の中心的役割を担う者として、建設業法、建設リサイクル法その他の法令を遵守するとともに、発注者との連絡調整、管理及び施工体制の整備等を行うこと。

《管理及び施工体制の整備》

- (1) 工事現場における建設副産物対策の責任者を明確にし、廃棄物処理計画の作成に努めること。
- (2) 請負代金の額が100万円以上の場合には、再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書を作成し、監督員に提出すること。特に対象建設工事においては、契約前に発注者に提出した「説明書」を施工計画書に添付すること。ただし、次項Ⅲ.に基づき建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書は監督員に提出されたものとみなす。
- (3) 再生資源利用促進計画書、再生資源利用計画書及び廃棄物処理計画等の内容については、現場担当者の教育、協力業者に対する周知徹底と明確な指導を行うこと。

《下請契約》

- (4) 工事の一部を下請発注し、生じた建設廃棄物を処理委託する場合は個別に直接処理委託の契約をすること。
- (5) 分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の適正な負担に努めること。
- (6) 対象建設工事にあつては、発注者に提出した「説明書」の内容を下請負人に告げるとともに、分別解体等の計画等に沿った施工、特定建設資材廃棄物の再資源化について指導を徹底すること。
- (7) 対象建設工事の下請契約には、建設業法による事項の他、分別解体等の方法、解体工事に要する費用、再資源化等をするための施設の名称及び所在地並びに再資源化等に要する費用を記載すること。
- (8) 解体工事を下請けさせる場合は、建設業法に基づく土木工事業、建築工事業又は解体工事業に係る許可業者か、建設リサイクル法に基づく解体工事業の登録業者に発注すること。ただし、解体工事業登録業者は請け負うことができる工事の規模に制限があるので注意すること。

《事前調査等》

- (9) 対象建設工事においては、建設工事の着手に先立ち対象建築物等及びその周辺の状況、作業場所の状況、搬出経路の状況、残存物品の有無、付着物の有無等の調査を行うこと。
- (10) 調査結果に基づき、作業場所及び搬出経路の確保、残存物品の搬出や付着物の除去など適正な工事を実施するための措置を講ずること。

《再生品の利用》

- (11) 建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材については、利用用途に応じた品質等を考慮した上で、次の事例を参考とし、可能な限り利用すること。

ア 道路等の舗装の路盤材、建築物の砂利・砂・割り石等の材料は、原則として、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づく県土整備部のコンクリート塊等処理指定工場から再生砕石等を調達すること。ただし、再生砂（RC-10）の利用に当たっては、製造者側から試験結果報告書を入手し六価クロムに係る環境基準の適合確認をした上で、監督員に報告書を提出し、確認を受けることとする。

なお、請け負った工事において再生砕石等を使用する場合は、上記要領に基づき、施工計画書に当該指定工場の材料試験成績書を添えて、建設リサイクル資材利用（変更）計画書を監督員に提出し承諾を受けること。

また、工事が完了したときは、上記要領に基づき、当該工事に使用した再生砕石等の使用量を建設リサイクル資材利用報告書に再生骨材購入指定工場の納入証明を受け、監督員に提出すること。

イ 建築工事の内装材等及び道路舗装材には、「工事における環境配慮型公共工事の推進に関する特記仕様書」を参考に、パーティクルボードや再生加熱アスファルト混合物等の利用に努めること。

ウ この他、コンクリート型枠材としてのパーティクルボード（ストランドボード）等エンジニアードウッドの利用、法面の緑化材、雑草防止材等としての再生木質マルチング材等の利用を積極的に提案すること。

2 施工に関する事項

分別解体等及び建設資材廃棄物の処理等の過程においては、廃棄物処理法、大気汚染防止法、労働安全衛生法、神奈川県生活環境の保全等に関する条例等関係法令の遵守を徹底するとともにアスベスト、CCA処理木材、フロン類、非飛散性アスベスト、PCB等の取扱いには十分注意し、有害物質等の発生抑制及び周辺環境への影響の防止を図ること。

《発生抑制》

- (1) 端材の発生が抑制される施工方法の採用及び建設資材の選択等について、次の事例を参考にし、積極的な提案を行うこと。
 - ア 解体時において再使用が容易に行える施工方法の採用
 - イ 耐久性の高い建築物等の建築等
 - ウ 使用済コンクリート型枠の再使用
 - エ コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊の現場内破碎による路盤材等への再生利用
 - オ 建設汚泥の現場内での脱水、固化等による盛土材等への再生利用

《分別解体等》

- (2) 建設業者にあつては主任技術者（監理技術者）、解体工事業登録業者にあつては技術管理者を設置するとともに、工事の現場に標識を掲げること。
- (3) 建設副産物を、次の区分に留意して、種類ごとに分別しつつ工事を施工するよう努めること。
 - ア 建設廃棄物と建設発生土
 - イ 一般廃棄物（飲料の空缶や弁当がら、刈草等）と産業廃棄物（伐木材・伐根材等）
 - ウ 特別管理産業廃棄物（飛散性アスベスト廃棄物等）と再資源化できる産業廃棄物
 - エ 安定型産業廃棄物（がれき類、廃プラスチック類、ガラスくず及び陶磁器くず、ゴムくず等）と管理型産業廃棄物（燃え殻、木くず、廃石膏ボード等）
- (4) 対象建設工事においては、分別解体等の計画等に定める、工事工程の順序、当該工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法により、現場において、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等をその種類ごとに確実に分別しつつ施工すること。

《再資源化等》

- (5) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材等、建設発生土は、再生資源利用促進計画書に基づき、再資源化施設等に搬入するとともに、再生資源の活用を努めること。（再生資源利用促進計画書については、Ⅲ.を参照）
- (6) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊は、原則として県土整備部のコンクリート塊等処理指定工場へ搬入すること。
その際には、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、施工計画書及びコンクリート塊等搬入（変更）証明書を提出し、監督員の承諾を受けるなど、所定の手続きを取ること。
- (7) 建設発生木材等は、原則として県土整備部の指定事業者の指定施設へ搬入すること。
その際には、「建設発生木材等の再資源化に関する事務取扱要領」に基づき、搬入その他の建設発生木材等の再資源化に関して施工計画書及び建設発生木材等搬入（変更）証明書を提出し、監督員の承諾を受けるなど、所定の手続きを取ること。
- (8) その他の建設廃棄物（特定建設資材廃棄物以外の廃棄物、対象建設工事でない工事による建設廃棄物）についても、可能な限り分別解体等を実施し、再資源化等に努めること。

《適正処理》

- (9) 廃棄物を処理する場合には、元請業者は、排出事業者として自らの責任において、廃棄物処理法等関係法令に基づき、可能な限り現場で減量化した後に適正に処理すること。
- (10) 廃棄物の処理を委託する場合には次の事項に留意すること。
 - ア 運搬と処分についてそれぞれの許可業者と各々委託契約すること。また、吹き付けアスベスト除去工事等に伴い発生する飛散性アスベスト廃棄物等の特別管理産業廃棄物はその専門業者に委託すること。
 - イ 適正な委託契約を行わない状況で、受託者が不法投棄等を行った時には、委託基準違反として委託者にも責任が及ぶことになるため、適正な委託費用をもって適切な委託契約を行い、併せて契約内容を確実に履行するよう関係者を指導監督すること。
 - ウ 産業廃棄物の処理を委託する場合には、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付し、最終処分（再生を含む。）が完了したことを確認すること。

3 施工の完了後に行う事項

- (1) 再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書を作成した工事にあつては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と照合した上で実施状況を把握し、再生資源利用促進実施書及び再生資源利用実施書を監督員に提出し、計画書とともに保存すること。
- (2) 対象建設工事においては、産業廃棄物管理票（マニフェスト）と照合して、特定建設資材廃棄物の再資源化が完了したことを確認したときは、速やかに「再資源化等報告書」を発注者に提出するとともに、再資源化等の実施状況に関する記録を作成し、保存すること。
- (3) 次項Ⅲ.に基づき建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、上記(1)の再生資源利用促進実施書、再生資源利用実施書及び上記(2)の建設リサイクル法に基づく再資源化等報告書は監督員に提出されたものとみなす。
- (4) コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊については、「コンクリート塊等の処理及び建設リサイクル資材に関する事務取扱要領」に基づき、当該工事で発生したコンクリート塊等の指定工場への搬入を完了したときは、速やかにコンクリート塊等搬入完了報告書に指定工場の証明を受けて監督員に報告すること。
- (5) 建設発生木材等については、「建設発生木材等の再資源化に関する事務取扱要領」に基づき、当該工事で発生した建設発生木材等の指定施設への搬入を完了したときは、速やかに建設発生木材等搬入完了報告書に指定施設の証明を受けて監督員に報告すること。

上記(1)から(5)の書類は、完成検査時の確認事項とするので、契約工期内に提出等すること。

(参考)

- 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）（平成26年6月4日改正）（建設リサイクル法）
- 特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等に関する基本方針（平成13年1月17日 農林水産省・経済産業省・国土交通省・環境省告示第1号）
- 神奈川県における特定建設資材に係る分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の促進等の実施に関する指針（平成14年5月28日 神奈川県告示第366号）
- 資源の有効な利用の促進に関する法律（平成3年法律第48号）（平成26年6月13日改正）（ラージリサイクル法）
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）（廃棄物処理法）
- 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）（平成27年9月11日改正）（グリーン購入法）
- 建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日改正）

Ⅲ. 建設副産物実態調査に関する事項

現場から発生する建設副産物についての発生量および再生資源利用量の実態把握について定める。

1

元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上の工事（小規模工事等又は調査対象となる建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出がない工事は除く）は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。なお、この手順により作成されたデータおよび帳票は、「資源の有効な利用の促進に関する法律」で定められた「再生資源利用 {促進} 計画書（実施書）の作成」を兼ねるものとする。
本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備考
搬入する建設資材	コンクリート	生コンクリート、コンクリート二次製品（有筋、無筋）など
	木材	
	アスファルト・コンクリート	
	土砂	山砂、建設発生土、土質改良土、建設汚泥処理土、再生コンクリート砂(RC-10) など
	砕石	鈹さい、クラッシャーラン、ぐり石など
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
その他の分別された廃棄物		
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土（建設汚泥を除く）		

2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ
<http://www.recycle.jacic.or.jp/>
 から建設副産物情報交換システムにログインする。
 システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。
 (「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成)
- (3) 工事完成時に実施書(最終データに修正)に書き換える。
- (4) 各種書類印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
- (5) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を印刷し、監督員に提出する。

3 データ入力上の留意点

- (1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出(一種発生土～浚渫土)には、「地山 m^3 」で入力し、建設資材利用(土砂)には、「締め m^3 」(表2、土量の変化率Cを考慮)で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土	
レキ	レキ質土	砂	砂質(普通土)	粘性土	高含水比粘性土
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90

岩塊 玉石	軟岩Ⅰ	軟岩Ⅱ	中硬岩	硬岩Ⅰ
1.00	1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100 m^3 (地山 m^3)

埋戻し 20 m^3 (締め m^3)…「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22 m^3 (地山 m^3)…「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20 m^3 ／変化率C(仮に0.9とする)＝22 m^3

処分 78 m^3 (地山 m^3)…「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

$$100\text{ m}^3 - 22\text{ m}^3 = 78\text{ m}^3$$

- (2) 建設資材利用について

ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。

- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。
 建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県県土整備部建設リサイクル資材認定資材一覧表(以下、認定一覧表という)を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目(建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土 砂(建設汚泥処理土)	再生改良土
	再生流動性埋戻材
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
砕 石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック(平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
	再生骨材コンクリート
	再生生コンクリート
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木 材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管 ・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」を入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10（再生砂）を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材A・B、建設汚泥、建設発生土（第一種～第四種建設発生土及び浚渫土））について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を県土整備局のコンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを県土整備局の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を県土整備局の建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード（再利用の目的がある決定）」と選択する。

施工条件明示事項

1. 当該工事の施工条件明示事項は、下記表□内の黒塗り部分が対象となる。
ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではない。
2. なお、請負者は下記明示事項やそれ以外に該当すると思われるもので、明示されていない場合には、その都度監督員と協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項
<input type="checkbox"/> 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響 <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限(準備工期の設定等) <input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立 <input type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響 <input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間 <input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数
<input type="checkbox"/> 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分 <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地 <input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用 <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容
<input type="checkbox"/> 周辺環境関係 (公害、排水等)	<input type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止(騒音、振動、粉塵、排出ガス等)対策 <input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設 <input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策 <input type="checkbox"/> 事業損失防止関係
<input checked="" type="checkbox"/> 安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定 <input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限 <input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策
<input type="checkbox"/> 工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限 <input type="checkbox"/> 搬入路の使用及び使用後の処置 <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置 <input type="checkbox"/> 一般道路の占用
<input type="checkbox"/> 仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物(仮土留、足場等)の他の工事への転用若しくは兼用 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定
<input type="checkbox"/> 建設副産物関係	<input type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件 <input type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化 <input type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理
<input type="checkbox"/> 薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工 <input type="checkbox"/> 周辺環境への調査
<input type="checkbox"/> 工事支障物件等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在 <input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工
<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き <input type="checkbox"/> 工事現場発生品 <input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品 <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等 <input type="checkbox"/> 架設工法の指定 <input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定 <input checked="" type="checkbox"/> 部分使用 <input type="checkbox"/> 給水の必要 <input checked="" type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書

施工条件明示の詳細

■ 安全対策関係

交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置

工事期間中(外部足場設置開始から外部足場解体完了まで)は交通誘導警備員を配置し、施設利用者等の安全を図る。

■ その他

部分使用

部分使用については、別記4による。

電子納品対象工事特記仕様書

機械設備工事・電気設備工事については、本工事完成引渡しと共に、しゅん工図書を2部およびしゅん工図面を収録したCD-Rを1枚作成し提出する。

図面データは原則次に示すデータのいずれかとする。ただし、「イメージデータ」とは拡張子が「pdf」または「tif」のファイルを指す。

- (a) CADデータ (AutoCADまたはJW-CADで正常に再現できる形式、または拡張子が「dxf」のファイルとする。)
- (b) CAD図のイメージデータ
- (c) 原図をイメージスキャナで読み取ったイメージデータ

特記仕様書

使用材料

本工事の内部改修に使用する材料は、ホルムアルデヒドについてはF☆☆☆☆(エフフォースター)を明示された材料(ただし、建築基準法告示対象外のものは除く)を使用し、揮発性有機化合物(トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン)については原則として環境対応型の材料を使用すること。

なお、使用する材料等については事前に監督員の承諾を受けること。
既製品等材料を使用する前に、カタログ等を提出し監督員の承諾を得ること。

共通仮設

工事場所及び資材置場を、うま、ロープ等で明確にし、安全表示板等により施設利用者等の安全をはかる。

動力用水光熱:工事に伴う水光熱は、施設の既存設備を利用できる。
ただし、電力についてはコンセント程度であり、用水、電力の使用に伴う配管、配線および撤去、復旧等については、請負人の負担とする。

直接仮設

外部足場は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)」2.2.1「足場等」により関係法令に従い設置すること。(900枠を原則とし、抜け止め機能付き型くさび緊結式足場(次世代足場)等の異なるものを採用しようとする場合は、監督員の承諾を得ること)

工事範囲以外に粉塵等が飛散しないよう、養生を施すこと。

施設利用者等の安全を確保するよう、災害防止処置を施すこと。

撤去・処分

発生材は、原則として場外処分とする。

解体・撤去により生じた周辺のクラック等は、原形に復旧する。

日曜日、祝日に大きな騒音、振動の発生する作業については、騒音規制法及び振動規制法の規定により行わないこと。

搬出・処分は関係法令に抵触しないよう留意すること。

発生材の処分は、原則として再生工場持込とする。ただし、再生処分が出来ない物に限り、関係法令に抵触しないよう処分すること。

単価及び共通費等に関する事項

1 単価等の採用根拠について

内訳書に掲載の単価等の採用根拠は、以下のとおりです。

A	建築工事標準市場単価表[建築・電気設備・機械設備]	非公開
	建築改修工事標準市場単価表[建築・電気設備・機械設備]	
	※上記単価表の単価は下記の歩掛等により作成	
	公共建築工事標準単価積算基準	
	公共建築工事積算基準等資料	
B	土木工事資材等単価表（神奈川県）	数量内訳書 見積単価等情報 にて公開
	市独自単価一覧表（土木工事編）	
C	建設物価、積算資料の2誌平均値による複合単価	
	建築施工単価・建築コスト情報との2誌平均値	
D	カタログ価格による複合単価	
	見積り及び見積りによる複合単価	
	工事が少量、僅少等の場合において補正を行ったA、BまたはCの単価	

- (1) Aの単価については、公表されている歩掛と刊行物に掲載の単価との複合単価であり、(一財)経済調査会及び(一財)建設物価調査会に著作権があるため、非公開とします。
なお、Aの単価を作成する際に使用している刊行物の採用月は、単価表の適用月前月です。
- (2) Bの単価については、神奈川県HP（土木工事資材等単価表について）若しくは横須賀市HP（工事積算情報）に掲載しています。
神奈川県HP:<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/m2t/cnt/f4317/p12744.html>
横須賀市HP:<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/1623/koujitousekisann.html>
- (3) Cの単価については、一般に公表されている、または都市部公共建築課が独自に調査した材料価格以外の刊行物による単価であり、(一財)経済調査会及び(一財)建設物価調査会に著作権があるため非公開とします。
- (4) 単価の採用根拠についての内容に関する質疑等は、原則受け付けません。

2 単価世代及び共通費算定の根拠について

- (1) 建築工事標準市場単価表等は、令和4年3月1日単価を採用しています。
- (2) 共通仮設費率及び現場管理費率の算定に用いる工期Tは 8.5か月とします。
- (3) 共通仮設費率及び現場管理費率の算定式は 改修を採用しています。

3 その他

- (1) 工事価格は、原則として有効桁を上位4桁としています。ただし、一千万円未満の場合は、一万円単位としています。

北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事
工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
換価格充当品	1	式		
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
建築工事		1			式				
電気設備工事		1			式				
	計								

建築工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
渡り廊下	1	式		
計				

電気設備工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
渡り廊下	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

渡り廊下							
名	称	数	量	単	位	金 額	備 考
直接仮設		1		式			
防水改修		1		式			
外壁改修		1		式			
建具改修		1		式			
内装改修		1		式			
塗装改修		1		式			
地業		1		式			
外構		1		式			
発生材処理		1		式			
	計						

電気設備工事 科目別内訳

渡り廊下							
名	称	数	量	単	位	金 額	備 考
電気設備		1		式			
	計						

建築工事 中科目別内訳

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					

建築工事 中科目別内訳

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
地業	杭	1	式		
計					
外構	撤去	1	式		
外構	改修	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電気設備		1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			
養生		1	式			
整理清掃後片付け		1	式			
外部足場	枠組本足場	1	式			
外部スリッ足場		1	式			
角形鋼管下地+スリッ	錆止め塗装共 運搬共	1	式			
仮設架台	鉄骨架台 錆止め塗装共 運搬共	1	式			
災害防止	ネット状養生シート、水平安全ネット	1	式			
内部仕上足場		1	式			
内部渡り廊下 出入口塞ぎ	軽鉄壁下地、化粧石膏ボード t9.5片面	1	式			
仮設材運搬		1	式			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		防水改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
スリッ撤去	集積共		m			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		防水改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
シーリング 新設	ハット型ジョイントシーリング部 MS-2 汎用シーリング材等共 30×10、20×10、20×15、15×10×2面		m				
シーリング 新設	ダブルシーリング部 MS-2 汎用シーリング材等共 20×10、20×15		m				
シーリング 新設	可動はしご支持金物台座加へ取合 加へ-170×170 MS-2 汎用シーリング材共 ブチルシート取合:25×10程度×両端 三角補強板+t5.0以上 ブチルシート取合:5×10、20×10、20×15 加へ-周囲:25×10程度		か所				
シーリング	EXP.J取合 MS-2 汎用シーリング材共 20×10		m				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外壁改修			撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
アルミ補取外し	下部外壁補(垂直面) アルミ補は改修後再取付け		m ²				
アルミ補取外し	下部外壁補(勾配面) アルミ補は改修後再取付け		m ²				
アルミ補取外し	床裏補 アルミ補は改修後再取付け		m ²				
アルミ補下地アングル撤去	下部外壁補下地アングル L-30×30×3 集積共		m				
アルミ補下地アングル撤去	床裏補下地アングル L-30×30×3 集積共		m				
EXP.J加へ撤去	アルミ製 C=105 W=350 屋根-既存外壁 シーリング共 集積共		m				
EXP.J加へ撤去	アルミ製 C=105 W=250 外壁-既存外壁(垂直面) シーリング共 集積共		m				
EXP.J加へ撤去	アルミ製 C=105 W=250 外壁-既存外壁(勾配面) シーリング共 集積共		m				
EXP.J加へ撤去	アルミ製 C=105 W=250 床裏-既存外壁 シーリング共 集積共		m				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外壁改修	改修			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
岩綿吹付	岩綿脱落部(下部外壁ハコ補) 半湿式ロックール吹付 1時間耐火 t30 既存脱落部集積共		m ²			
岩綿吹付	岩綿脱落部(床裏ハコ補) 半湿式ロックール吹付 1時間耐火 t30 既存脱落部集積共		m ²			
アルミハコ下地アングル新設	下部外壁ハコ下地アングル L-30×30×3		m			
アルミハコ下地アングル新設	床裏ハコ下地アングル L-30×30×3		m			
アルミハコ再取付け	下部外壁ハコ補(垂直面) 既存再利用		m ²			
アルミハコ再取付け	下部外壁ハコ補(勾配面) 既存再利用		m ²			
アルミハコ再取付け	床裏ハコ補 既存再利用		m ²			
可動はしご支持金物台座加ハコ新設	アルミジョイント加ハコ - t2.0 170×85×2 アルミアングル 2-L25×25×2 SUSハコプレートにて固定		か所			
目地部 ハット型ジョイナー新設	屋根目地部 FB加ハコ -t2.0共		m			
メンテナンス梯子点検	レール歪み状況確認 タチ稼働状況確認後、タチの交換及び 修理など	1	式			
EXP.J加ハコ	ステンレス製 C=100±50 W=350 屋根-既存外壁		m			
EXP.J加ハコ	ステンレス製 上部可動式小口クワ		か所			
EXP.J加ハコ	ステンレス製 C=100±50 W=250 外壁-既存外壁(垂直面)		m			
EXP.J加ハコ	ステンレス製 C=100±50 W=250 外壁-既存外壁(勾配面)		m			
EXP.J加ハコ	ステンレス製 C=100±50 W=250 床裏-既存外壁		m			

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外壁改修	改修			
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		建具改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ガリ戸 網戸張替え	W1070×H1400 SUS 撤去・建付調整共		か所			
ガリ戸 網戸張替え	W1070×H960 SUS 撤去・建付調整共		か所			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		内装改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
ビニル床シート撤去	t2.5ノスリップ 階数表示共 集積共		m ²			
点字タイル撤去	合成ゴム製 300角 t2.0+5.0 集積共		m ²			
化粧タイル板撤去	二重張り t5.0 下張り石膏ボード t9.5共 集積共		m ²			
壁付手摺撤去	木製集成材 40 手摺のみ撤去 集積共		m			
ロック化粧吸音板 撤去	二重張り t12 下張りGB t9.5共 集積共		m ²			
非常口プレート撤去	120×360 集積共		か所			
EXP. Jか -撤去	アルミ製 C=105 W=275 床-床 集積共		m			
EXP. Jか -撤去	アルミ製 C=105 W=275 壁-壁 集積共		m			
EXP. Jか -撤去	アルミ製 C=105 W=275 天井-天井 集積共		m			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ビニル床シート	t2.5 ノスリツブ 一般		m ²			
ビニル床シート象嵌 階数表示	t2.5 ノスリツブ 一般 範囲1700×1500内 表示「2」 ビニル床シート共		か所			
ビニル床シート象嵌 階数表示	t2.5 ノスリツブ 一般 範囲1700×1500内 表示「3」 ビニル床シート共		か所			
点字タイル	合成ゴム製 300角 t2.0+5.0		m ²			
木製巾木	なら t15 H75		m			
壁 せつこうボード 張り(GB-R)	t12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 少量・僅少施工		m ²			
壁 ビニルクロス貼り	準不燃 石膏ボード面		m ²			
壁 手摺新設	木製集成材 40 手摺のみ新設		m			
天井 ロック-ル 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-R 厚 9.5共 少量・僅少施工		m ²			
天井 廻縁	塩化ビニル製 少量・僅少施工		m			
壁 通気スリット	ガルバリウム鋼板t0.35		m			
天井 通気スリット	ガルバリウム鋼板t0.35 野縁25×19×0.5共		m			
天井 点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角		か所			
非常口プレート	120×360		か所			
EXP. Jカバー	ステンズ製 C=100±50 W=275 床-床		m			

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		内装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
EXP. Jカバー	アルミ製 C=100±50 W=275 壁-壁		m			
EXP. Jカバー	アルミ製 C=100±50 W=275 天井-天井		m			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		塗装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
全光型光触媒塗装	既存アス面(屋根ハ礼) 下地処理共		m ²			
全光型光触媒塗装	既存アス面(上部外壁ハ礼) 下地処理共		m ²			
全光型光触媒塗装	既存アス面(下部外壁ハ礼) 下地処理共		m ²			
477化7素樹脂塗装	既存アス面(床裏ハ礼) 下地処理共		m ²			
炭素繊維混入珪外塗装	ハ礼下地アングル(下部外壁) 鉄鋼面 細幅物 新規面 下地調整RA種・錆止共		m			
炭素繊維混入珪外塗装	ハ礼下地アングル(床裏ハ礼) 鉄鋼面 細幅物 新規面 下地調整RA種・錆止共		m			
炭素繊維混入珪外塗装	ハツ型ジョイ-新設部 鉄鋼面 細幅物(W20×H25程度) 下地ビエ取替共 塗替え面 下地調整RB種・錆止共		m			
炭素繊維混入珪外塗装	ダ'ルシ-ワケ部(外壁) 鉄鋼面 細幅物(W20×H25程度) 下地ビエ取替共 塗替え面 下地調整RB種・錆止共		m			
UC塗り	木部 細幅物(巾木) 新規面 1-UC 木部 B種 下地調整RA種共 少量・僅少施工		m			
UC塗り	木部 細幅物(手摺) 新規面 1-UC 木部 B種 下地調整RA種共 少量・僅少施工		m			
EP-G塗り	鋼製建具面(防火戸) 塗替え面 工程B種 錆止工程C種 現場1回塗り 水系さび止め 下地調整RB種共					

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		塗装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	少量・僅少施工		m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		地業		杭		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭	190.7 t7.0 L4000					
杭運搬費		1	組			
杭施工費		1	式			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外構		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
カッター入れ	アスファルト舗装面 t50程度					
行政ビル側 遊歩道舗装撤去	透水性自然石舗装 t10 開粒度アスフ t40 路盤 RC-40 t100 フィルタ層 砂 t100 集積共		m			
市民ビル側 遊歩道舗装撤去	ニト舗装 再生密粒アスフ t50 路盤 RC-40 t100 集積共		m ²			
枝払い	H3m 1本、H5m 1本 集積共	1	式			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外構		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
行政ビル側 遊歩道舗装復旧	透水性自然石舗装 t10 開粒度アスコン t40 路盤 RC-40 t100 フィルタ層 砂 t100		m ²			
市民プラザ側 遊歩道舗装復旧	シート舗装 再生密粒アスコン t50 路盤 RC-40 t100		m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材運搬	積込共	1	式			
発生材処分		1	式			
計						

電気設備工事 細目別内訳

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管配線		1	式			
E E Fケーブル		1	式			
E M - A Eケーブル		1	式			
E M - H Pケーブル		1	式			
E M - F P Cケーブル		1	式			
E M - C P E Eケーブル		1	式			
配線器具		1	式			
ボックス類		1	式			
LED照明器具 A	LRS1 - -08 LN		個			
非常用LED照明器具 a	K1-LRS11 -2 -		個			
誘導灯 b	SH1-FRF 20 P - BH -		個			
誘導灯 c	ST1-FRF 22 P - BL -		個			
誘導標識板	高輝度蓄光式		個			
スピーカー	SC6Hi -1(3) V3		個			
光電式煙感知器	2種 非蓄積型 埋込		個			

電気設備工事 細目別内訳

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
光電式煙感知器	3種 非蓄積型 埋込		個			
電磁リリーズ (自動閉鎖装置)	防火戸用 ラッチ式 埋込		個			
防火区画 貫通処理等		1	式			
火災報知 立会検査	P型1級		1 工事			
撤去費	運搬費含む	1	式			
処分費		1	式			
計						

数量内訳書 見積単価等情報

都市部 公共建築課

- ※ この数量内訳書の数量は参考です、入札者は独自に積算し入札すること。
掲載された単価は本市が設計価格算出の為に採用したもので、入札者の下請負 金額
等を保証するものではありません。
また、金額に関する質疑等は原則、受け付けません。

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
換価格充当品	1	式		
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
建築工事	1	式		
電気設備工事	1	式		
計				

建築工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
渡り廊下	1	式		
計				

電気設備工事 種目別内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
渡り廊下	1	式		
計				

建築工事 科目別内訳

渡り廊下									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
直接仮設		1		式					
防水改修		1		式					
外壁改修		1		式					
建具改修		1		式					
内装改修		1		式					
塗装改修		1		式					
地業		1		式					
外構		1		式					
発生材処理		1		式					
	計								

電気設備工事 科目別内訳

渡り廊下									
名	称	数	量	単	位	金	額	備	考
電気設備		1		式					
	計								

建築物工事 中科目別内訳

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					

建築物工事 中科目別内訳

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
地業	杭	1	式		
計					
外構	撤去	1	式		
外構	改修	1	式		
計					
発生材処理		1	式		
計					

北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事
電気設備工事 中科目別内訳

渡り廊下					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電気設備		1	式		
計					

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
養生		1	式			別紙 00-0002
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
外部足場	枠組本足場	1	式			別紙 00-0004
外部スリッ足場		1	式			別紙 00-0005
角形鋼管下地+スリッ	錆止め塗装共 運搬共	1	式			別紙 00-0006
仮設架台	鉄骨架台 錆止め塗装共 運搬共	1	式			別紙 00-0007
災害防止	ネット状養生シート、水平安全ネット	1	式			別紙 00-0008
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0009
内部渡り廊下 出入口塞ぎ	軽鉄壁下地、化粧石膏ボード t9.5片面	1	式			別紙 00-0010
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0011
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		防水改修			撤去	
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シリカ 撤去	集積共	972	m			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		防水改修			改修		備考
名称	摘要	数量	単位	単価	金額		
シーリング 新設	ハット型ジョイントシーリング部 MS-2 Ⅱ ックアップ 材等共 30×10、20×10ダブル、15×10×2面	155	m				
シーリング 新設	ダブルシーリング部 MS-2 Ⅱ ックアップ 材等共 20×10ダブル	817	m				
シーリング 新設	可動はしご支持金物台座加へ取合 加へ -170×170 MS-2 Ⅱ ックアップ 材共 ブチクワット取合:25×10程度×両端 三角補強板+t5.0以上 ブチクワット取合:5×10ダブル 加へ周囲:25×10程度	28	か所				
シーリング	EXP. J取合 MS-2 Ⅱ ックアップ 材共 20×10	55.1	m				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外壁改修			撤去		備考
名称	摘要	数量	単位	単価	金額		
アルミ 補取外し	下部外壁 Ⅱ 補(垂直面) Ⅱ 補は改修後再取付け	61.2	m ²				
アルミ 補取外し	下部外壁 Ⅱ 補(勾配面) Ⅱ 補は改修後再取付け	71.9	m ²				
アルミ 補取外し	床裏 Ⅱ 補 Ⅱ 補は改修後再取付け	72.7	m ²				
アルミ 補下地アングル 撤去	下部外壁 Ⅱ 補下地アングル L-30×30×3 集積共	333	m				
アルミ 補下地アングル 撤去	床裏 Ⅱ 補下地アングル L-30×30×3 集積共	110	m				
EXP. J加へ -撤去	アルミ製 C=105 W=350 屋根-既存外壁 シーリング 共 集積共	8.1	m				
EXP. J加へ -撤去	アルミ製 C=105 W=250 外壁-既存外壁(垂直面) シーリング 共 集積共	11.4	m				
EXP. J加へ -撤去	アルミ製 C=105 W=250 外壁-既存外壁(勾配面) シーリング 共 集積共	3.9	m				
EXP. J加へ -撤去	アルミ製 C=105 W=250 床裏-既存外壁 シーリング 共 集積共	4.2	m				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外壁改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
岩綿吹付	岩綿脱落部(下部外壁 ^H 補) 半湿式ロック-吹付 1時間耐火 t30 既存脱落部集積共	133	m ²			
岩綿吹付	岩綿脱落部(床裏 ^H 補) 半湿式ロック-吹付 1時間耐火 t30 既存脱落部集積共	36.3	m ²			
アルミ ^H 補下地アングル 新設	下部外壁 ^H 補下地アングル L-30 × 30 × 3	333	m			
アルミ ^H 補下地アングル 新設	床裏 ^H 補下地アングル L-30 × 30 × 3	110	m			
アルミ ^H 補再取付け	下部外壁 ^H 補(垂直面) 既存再利用	61.2	m ²			
アルミ ^H 補再取付け	下部外壁 ^H 補(勾配面) 既存再利用	71.9	m ²			
アルミ ^H 補再取付け	床裏 ^H 補 既存再利用	72.7	m ²			
可動はしご支持金 物台座加 ^H -新設	アルミ ^H ヨイント加 ^H - t2.0 170 × 85 × 2 アルミアングル 2-L25 × 25 × 2 SUS ^H 1t10にて固定	28	か所			
目地部 ハット型 ^H ヨイト ^H -新設	屋根目地部 FB加 ^H -t2.0共	155	m			
メンテナンス梯子点検	レール歪み状況確認 タ作稼働状況確認後、タ作の交換及び 修理など	1	式			
EXP.J加 ^H -	ステンズ製 C=100 ± 50 W=350 屋根-既存外壁	8.1	m			
EXP.J加 ^H - 上部可動式小口 ^H	ステンズ製	4	か所			
EXP.J加 ^H -	ステンズ製 C=100 ± 50 W=250 外壁-既存外壁(垂直面)	11.4	m			
EXP.J加 ^H -	ステンズ製 C=100 ± 50 W=250 外壁-既存外壁(勾配面)	3.9	m			
EXP.J加 ^H -	ステンズ製 C=100 ± 50 W=250 床裏-既存外壁	4.2	m			

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外壁改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		建具改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
ガリ戸 網戸張替え	W1070×H1400 SUS 撤去・建付調整共	3	か所				
ガリ戸 網戸張替え	W1070×H960 SUS 撤去・建付調整共	1	か所				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		内装改修			撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
ビニル床シート撤去	t2.5ノスリップ 階数表示共 集積共	84.8	㎡				
点字タイル撤去	合成ゴム製 300角 t2.0+5.0 集積共	1.7	㎡				
化粧板加板撤去	二重張り t5.0 下張り石膏ボード t9.5共 集積共	66.2	㎡				
壁付手摺撤去	木製集成材 40 手摺のみ撤去 集積共	70.3	m				
ロック化粧吸音板 撤去	二重張り t12 下張りGB t9.5共 集積共	52.3	㎡				
非常口プレート撤去	120×360 集積共	4	か所				
EXP.Jかん撤去	アルミ製 C=105 W=275 床-床 集積共	4.7	m				
EXP.Jかん撤去	アルミ製 C=105 W=275 壁-壁 集積共	8.8	m				
EXP.Jかん撤去	アルミ製 C=105 W=275 天井-天井 集積共	5	m				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		内装改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
ビニル床シート	t2.5 ノスリッパ 一般	79.7	m ²				
ビニル床シート象嵌階数表示	t2.5 ノスリッパ 一般 範囲1700×1500内 表示「2」 ビニル床シート共	1	か所				
ビニル床シート象嵌階数表示	t2.5 ノスリッパ 一般 範囲1700×1500内 表示「3」 ビニル床シート共	1	か所				
点字タイル	合成ゴム製 300角 t2.0+5.0	1.7	m ²				
木製巾木	なら t15 H75	69.4	m				
壁せつこうボード張り(GB-R)	t12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 少量・僅少施工	56	m ²				
壁ビニルクロス貼り	準不燃 石膏ボード面	56	m ²				
壁手摺新設	木製集成材 40 手摺のみ新設	70.3	m				
天井ロックロール化粧吸音板張り(DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-R 厚 9.5共 少量・僅少施工	49.9	m ²				
天井廻縁	塩化ビニル製 少量・僅少施工	23.3	m				
壁通気スリット	ガルバリウム鋼板t0.35	69.4	m				
天井通気スリット	ガルバリウム鋼板t0.35 野縁25×19×0.5共	73.9	m				
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	6	か所				
非常口プレート	120×360	4	か所				
EXP.J加へ	ステンレス製 C=100±50 W=275 床-床	4.7	m				

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		内装改修			改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
EXP.J加へ	アルミ製 C=100±50 W=275 壁-壁	8.8	m				
EXP.J加へ	アルミ製 C=100±50 W=275 天井-天井	5	m				
計							

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		塗装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
全光型光触媒塗装	既存アス面(屋根A' 補) 下地処理共	149	m ²			
全光型光触媒塗装	既存アス面(上部外壁A' 補) 下地処理共	82.3	m ²			
全光型光触媒塗装	既存アス面(下部外壁A' 補) 下地処理共	133	m ²			
477化フ素樹脂塗装	既存アス面(床裏A' 補) 下地処理共	72.7	m ²			
炭素繊維混入EIL外塗装	A' 補下地アングル(下部外壁) 鉄鋼面 細幅物 新規面 下地調整RA種・錆止共	333	m			
炭素繊維混入EIL外塗装	A' 補下地アングル(床裏A' 補) 鉄鋼面 細幅物 新規面 下地調整RA種・錆止共	110	m			
炭素繊維混入EIL外塗装	ハット型ジョイント-新設部 鉄鋼面 細幅物(W20×H25程度) 下地ビ入取替共 塗替え面 下地調整RB種・錆止共	155	m			
炭素繊維混入EIL外塗装	ダブリン-リク部(外壁) 鉄鋼面 細幅物(W20×H25程度) 下地ビ入取替共 塗替え面 下地調整RB種・錆止共	76	m			
UC塗り	木部 細幅物(巾木) 新規面 1-UC 木部 B種 下地調整RA種共 少量・僅少施工	69.4	m			
UC塗り	木部 細幅物(手摺) 新規面 1-UC 木部 B種 下地調整RA種共 少量・僅少施工	70.3	m			
EP-G塗り	鋼製建具面(防火戸) 塗替え面 工程B種 錆止工程C種 現場1回塗り 水系さび止め 下地調整RB種共					

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		塗装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	少量・僅少施工	28.8	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		地業		杭		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
鋼管杭	190.7 t7.0 L4000	8	組			
杭運搬費		1	式			
杭施工費		1	式			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外構		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
カッター入れ	アスファルト舗装面 t50程度	85.3	m			
行政ビル側遊歩道舗装撤去	透水性自然石舗装 t10 開粒度アスル t40 路盤 RC-40 t100 フィルター層 砂 t100 集積共	32.2	m ²			
市民プラザ側遊歩道舗装撤去	シート舗装 再生密粒アスル t50 路盤 RC-40 t100 集積共	35.5	m ²			
枝払い	H3m 1本、H5m 1本 集積共	1	式			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		外構		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
行政側側 遊歩道舗装復旧	透水性自然石舗装 t10 開粒度アスコン t40 路盤 RC-40 t100 フィルター層 砂 t100	32.2	m ²			
市民プラザ側 遊歩道舗装復旧	二ト舗装 再生密粒アスコン t50 路盤 RC-40 t100	35.5	m ²			
計						

建築工事 細目別内訳

渡り廊下		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材運搬	積込共	1	式			別紙 00-0012
発生材処分		1	式			別紙 00-0013
計						

電気設備工事 細目別内訳

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管配線		1	式			別紙 00-0014
E E Fケーブル		1	式			別紙 00-0015
E M - A Eケーブル		1	式			別紙 00-0016
E M - H Pケーブル		1	式			別紙 00-0017
E M - F P Cケーブル		1	式			別紙 00-0018
E M - C P E Eケーブル		1	式			別紙 00-0019
配線器具		1	式			別紙 00-0020
ボックス類		1	式			別紙 00-0021
LED照明器具 A	LRS1 - -08 LN	30	個			
非常用LED照明器具 a	K1-LRS11 -2 -	8	個			
誘導灯 b	SH1-FRF 20 P - BH -	3	個			
誘導灯 c	ST1-FRF 22 P - BL -	1	個			
誘導標識板	高輝度蓄光式	4	個			
スピーカー	SC6Hi -1(3) V3	2	個			
光電式煙感知器	2種 非蓄積型 埋込	2	個			

電気設備工事 細目別内訳

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
光電式煙感知器	3種 非蓄積型 埋込	4	個			
電磁リリーズ (自動閉鎖装置)	防火戸用 ラッチ式 埋込	4	個			
防火区画 貫通処理等		1	式			別紙 00-0022
火災報知 立会検査	P型1級	1	1 工事			
撤去費	運搬費含む	1	式			別紙 00-0023
処分費		1	式			別紙 00-0024
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			別紙 00-0001
墨出し(外壁改修)	下部外壁 Γ 補改修面 下地 Γ 交換部 (外壁改修)タイル・珪外塗替等 一般	133	m ²			
墨出し(外壁改修)	床裏 Γ 補改修面 下地 Γ 交換部 (外壁改修)タイル・珪外塗替等 一般	72.7	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0002
養生	屋根 Γ 補改修面 塗装改修、シーリング 打替え (外壁改修)	149	m ²			
養生	上部外壁 Γ 補改修面 塗装改修、シーリング 打替え (外壁改修)	148	m ²			
養生	下部外壁 Γ 補改修面 Γ 補取外し再取付・劣化部補修、 シーリング 打替え (外壁改修)	52.2	m ²			
養生	床裏 Γ 補改修面 Γ 補取外し再取付・劣化部補修、 シーリング 打替え (外壁改修)	72.7	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	86.5	m ²			
岩綿吹付時養生	床・立上り面 Γ シート養生程度 (外壁改修)	304	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0003
整理清掃後片付け	屋根 Γ 補改修面 塗装改修、シーリング 打替え (外壁改修)	149	m ²			
整理清掃後片付け	上部外壁 Γ 補改修面 塗装改修、シーリング 打替え (外壁改修)	148	m ²			
整理清掃後片付け	下部外壁 Γ 補改修面 Γ 補取外し再取付・劣化部補修、 シーリング 打替え (外壁改修)	52.2	m ²			
整理清掃後片付け	床裏 Γ 補改修面 Γ 補取外し再取付・劣化部補修、 シーリング 打替え (外壁改修)	72.7	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	86.5	m ²			
岩綿吹付時 整理清掃後片付け	(外壁改修)	304	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
外部足場	枠組本足場	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 12m未満 114日 修理費含む	29.9	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 22m未満 114日 修理費含む	913	m ²			
枠組足場頂部つなぎ材	単管パイプ 48.6×2.4 114日賃料 修理費含む 掛払い手間は安全手すり枠組本足場用(手すり先行方式)代用	138	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 114日 修理費含む	76.2	m			
計						
外部スチール足場		1	式			別紙 00-0005
スチール足場	単管パイプ 下地組、鋼製足場板敷き 114日 修理費含む	155	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
角形鋼管下地+スチール	錆止め塗装共 運搬共	1	式			別紙 00-0006
(鉄骨)	購入品					
角形鋼管	STKR400 -60×60×2.3	716	kg			
副資材等	角形鋼管下地 取付金物、ボルト、消耗品等	1	式			
加工組立取付け・解体	角形鋼管下地+スチール 錆止め塗装共 運搬共	1	式			
(仮設)						
スチール(角形鋼管下地部)	単管パイプ、鋼製足場板敷き 114日 修理費含む	144	m ²			
仮設材運搬 スチール(角形鋼管下地部)	単管パイプ、鋼製足場板	144	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設架台	鉄骨架台 錆止め塗装共 運搬共	1	式			別紙 00-0007
(鉄骨)	購入品					
H形鋼	SS400 H-175×175×7.5×11	4,141	kg			
H形鋼	SS400 H-200×200×8×12	367	kg			
H形鋼	SS400 H-340×250×9×14	4,330	kg			
溝形鋼	SS400 [-250×90×11×14.5	154	kg			
等辺山形鋼	SS400 L-65×65×6	443	kg			
副資材等	仮設架台 取付金物、ボルト、消耗品等	1	式			
加工組立取付け・ 解体	仮設架台 錆止め塗装共 運搬共	1	式			
仮設架台根がらみ パイプ	48.6×2.4 173日 修理費含む 掛払い手間は安全手すり枠組本足場 用(手すり先行方式)代用	16	m			
仮設材運搬 (仮設架台根がらみ パイプ)	安全手すり枠組本足場用(手すり先 行方式)代用	16	m			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
災害防止	ネット養生シート、水平安全ネット	1	式			別紙 00-0008
ネット養生シート張り	防災 類 104日賃料 修理費含む	924	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ネット 104日 修理費含む	155	m ²			
計						
内部仕上足場		1	式			別紙 00-0009
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般	86.5	m ²			
計						
内部渡り廊下 出入口塞ぎ	軽鉄壁下地、化粧石膏ボード t9.5片面	1	式			別紙 00-0010
内部渡り廊下 出入口塞ぎ	軽鉄壁下地、化粧石膏ボード t9.5片面 W1750×H2300	1	か所			
内部渡り廊下 出入口塞ぎ	軽鉄壁下地、化粧石膏ボード t9.5片面 W2340×H2380	1	か所			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0011
(外部足場)						
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	29.9	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	913	m ²			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	76.2	m			
仮設材運搬 (枠組足場頂部つなぎ材) (外部ｽﾀｰｼﾞ足場)	安全手すり枠組本足場用(手すり先行方式)代用	138	m			
仮設材運搬 ｽﾀｰｼﾞ足場	単管ﾊﾞｲﾌﾞ、鋼製足場板	155	m ²			
(災害防止)						
仮設材運搬 (ｼｰﾄﾈｯﾄ類)		1,079	m ²			
(内部足場)						
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	86.5	m ²			
計						

建築工事 別紙明細

渡り廊下		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材運搬	積込共	1	式			別紙 00-0012
発生材積込み ｱｽﾌﾙﾄ塊	ｺﾝｸﾘｰﾄ類 人力	3.1	m ³			
発生材積込み 路盤材(砕石、ﾌｲﾙﾀ-層)	ｺﾝｸﾘｰﾄ類 人力	10	m ³			
発生材積込み 木材類	ﾎｰﾄﾞ・木材類 人力	0.2	m ³			
発生材積込み 金属くず	ﾎｰﾄﾞ・木材類 人力	0.1	m ³			
発生材積込み 廃ﾌﾗｽﾀｯｸ類	ﾎｰﾄﾞ・木材類 人力	0.2	m ³			
発生材積込み 安定型混合廃棄物	ﾎｰﾄﾞ・木材類 人力	8	m ³			
発生材積込み 管理型混合廃棄物	ﾎｰﾄﾞ・木材類 人力	1.1	m ³			
発生材積込み 換価格充当品	ﾎｰﾄﾞ・木材類 人力	8.7	m ³			
撤去材運搬 ｱｽﾌﾙﾄ塊	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類代用 D1D区間有り 2.5km以下	3.1	m ³			
撤去材運搬 路盤材(砕石、ﾌｲﾙﾀ-層)	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ類代用 D1D区間有り 2.5km以下	10	m ³			
撤去材運搬 木材類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 木材類 D1D区間有り 2.5km以下	0.2	m ³			
撤去材運搬 金属くず	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 石ころﾎｰﾄﾞ類代用 D1D区間有り 2.5km以下	0.1	m ³			
撤去材運搬 廃ﾌﾗｽﾀｯｸ類	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 石ころﾎｰﾄﾞ類代用 D1D区間有り 2.5km以下	0.2	m ³			
撤去材運搬 安定型混合廃棄物	ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ 2t積級 人力積込 石ころﾎｰﾄﾞ類代用 D1D区間有り 2.5km以下	8	m ³			

建築工事 別紙明細

渡り廊下		発生材処理				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
発生材運搬	積込共	1	式			別紙 00-0012
撤去材運搬 管理型混合廃棄物	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類 DID区間有り 2.5km以下	1.1	m3			
撤去材運搬 換価格充当品	ダンプトラック 2t積級 人力積込 石こうボード類代用 DID区間有り 2.5km以下	8.7	m3			
計						
発生材処分		1	式			別紙 00-0013
発生材処分	アスファルト塊	7.3	t			
発生材処分	路盤材(砕石、フィルター層)	15	t			
発生材処分	木くず	0.2	m3			
発生材処分	金属くず	0.1	m3			
発生材処分	廃プラスチック類	0.2	m3			
発生材処分	混合廃棄物	7.1	m3			
発生材処分	石膏ボード類	1.1	m3			
計						

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
配管配線		1	式			別紙 00-0014
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 16mm	2	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠べい・埋込配管 22mm	13	m			
計						
EEFケーブル		1	式			別紙 00-0015
600V [※] リイロン絶縁 耐燃性 [※] リイロン ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 2C ビット・天井	69	m			
600V [※] リイロン絶縁 耐燃性 [※] リイロン ケーブル平形 EM-EEF	1.6mm- 3C ビット・天井	79	m			
600V [※] リイロン絶縁 耐燃性 [※] リイロン ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C FEP内 (PF・CD)	8	m			
600V [※] リイロン絶縁 耐燃性 [※] リイロン ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	38	m			
計						

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備					備考
名称	摘要	数量	単位	単価	金額		
EM-AEケーブル		1	式			別紙 00-0016	
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C FEP内 (PF・CD)	1	m				
EM-AEケーブル	1.2 mm- 2C ビッド・天井	25	m				
計							
EM-HPケーブル		1	式			別紙 00-0017	
EM-HPケーブル	1.2 mm- 3C ビッド・天井	24	m				
計							
EM-FPCケーブル		1	式			別紙 00-0018	
EM-FP-Cケーブル	1.2mm- 3C FEP内 (PF・CD)	2	m				
EM-FP-Cケーブル	1.2mm- 3C ビッド・天井	5	m				
EM-FP-Cケーブル	1.2mm- 5C FEP内 (PF・CD)	2	m				
EM-FP-Cケーブル	1.2mm- 5C ビッド・天井	35	m				
計							

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備					備考
名称	摘要	数量	単位	単価	金額		
EM-CPEEケーブル		1	式			別紙 00-0019	
EM-FCPEEケーブル	0.9 mm- 1P FEP内 (PF・CD)	1	m				
EM-FCPEEケーブル	0.9 mm- 1P ビッド・天井	38	m				
計							
配線器具		1	式			別紙 00-0020	
コネクタ (金属プレート付)	連用形2P15A×2 (一体形) 125V	3	個				
フル2線式リモコンスイッチ (金属プレート付)	スイッチ2回路	2	個				
計							
ボックス類		1	式			別紙 00-0021	
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー付)	中四角 浅型 D44	13	個				
合成樹脂製 アウトレットボックス(カバー付)	中四角 深型 D54	4	個				
計							

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備					備 考
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額		
防火区画貫通処理等		1	式			別紙 00-0022	
丸形貫通処理(壁・床共用)	100	4	か所				
計							

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備					備 考
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額		
撤去費	運搬費含む	1	式			別紙 00-0023	
合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)撤去	16 再使用しない	6	m				
合成樹脂製可とう電線管(PF管、CD管)撤去	22 再使用しない	13	m				
600V絶縁ケーブル撤去	1.6mm- 2C ビット・天井 再使用しない	69	m				
600V絶縁ケーブル撤去	1.6mm- 2C FEP内(PF・CD) 再使用しない	4	m				
600V絶縁ケーブル撤去	1.6mm- 3C ビット・天井 再使用しない	79	m				
600V絶縁ケーブル撤去	2.0mm- 3C FEP内(PF・CD) 再使用しない	8	m				
600V絶縁ケーブル撤去	2.0mm- 3C ビット・天井 再使用しない	38	m				
EM-AEケーブル撤去	1.2 mm- 2C FEP内(PF・CD) 再使用しない	1	m				
EM-AEケーブル撤去	1.2 mm- 2C ビット・天井 再使用しない	25	m				
EM-HPケーブル撤去	1.2 mm- 3C ビット・天井 再使用しない	24	m				
EM-FPCケーブル撤去	1.2 mm- 3C FEP内(PF・CD) 再使用しない	2	m				
EM-FPCケーブル撤去	1.2 mm- 3C ビット・天井 再使用しない	5	m				
EM-FPCケーブル撤去	1.2 mm- 5C FEP内(PF・CD) 再使用しない	2	m				
EM-FPCケーブル撤去	1.2 mm- 5C ビット・天井 再使用しない	35	m				

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去費	運搬費含む	1	式			別紙 00-0023
EM-FCPEEケーブル撤去	0.9 mm- 1P FEP内(PF・CD) 再使用しない	1	m			
EM-FCPEEケーブル撤去	0.9 mm- 1P ビット・天井 再使用しない	38	m			
コンセント撤去	運用形2P15A×2 再使用しない	3	個			
フル2線式リモコンスイッチ撤去	スイッチ2回路 再使用しない	2	個			
位置ボックス撤去	再使用しない	17	個			
LED照明器具撤去	ダウンライト再使用しない	30	個			
非常用照明器具撤去	再使用しない	7	個			
避難口誘導灯撤去	再使用しない	3	個			
通路誘導灯撤去	再使用しない	1	個			
誘導標識撤去	再使用しない	4	個			
天井埋込スピーカー撤去	再使用しない	2	個			
光電式煙感知器撤去	2種 非蓄積型 埋込 再使用しない	2	個			
光電式煙感知器撤去	3種 非蓄積型 埋込 再使用しない	4	個			
電磁リリース(自動閉鎖装置)撤去	防火戸用 ラッチ式 再使用しない	4	個			

電気設備工事 別紙明細

渡り廊下		電気設備				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
撤去費	運搬費含む	1	式			別紙 00-0023
収集運搬	2tダンプ車	1	回			
計						
処分費		1	式			別紙 00-0024
プラスチック		43	kg			
鉄屑B		31	kg			
計						

北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事
 共通仮設費(積上) 明細

44

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費(積上)		1	式			別紙 00-0025
計						

換価格充当品 明細

45

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
換価格充当品		1	式			別紙 00-0026
計						

北下浦市民プラザ渡り廊下防水改修その他工事
 共通仮設費(積上) 共通費別紙明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費(積上)		1	式			別紙 00-0025
仮囲い	万能鋼板 H=3m 184日 運搬共	30.5	m			
キャスターゲート	W10800×H1800 184日 運搬共	1	か所			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 6日(地盤調査) 運搬共	14	m			
ガードフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 203日(工事期間) 運搬共	14	m			
仮設鉄板敷	t22 184日 運搬共	146	m ²			
ラフレncy運転 (油圧伸縮ジブ型)	25t吊り 本機付き 賃料 長期	45	日			
交通誘導警備員	B(法定福利費含む)	73	人			
地盤調査費		1	式			
仮設工事構造計算 費用		1	式			
計						

換価格充当品 別紙明細

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
換価格充当品		1	式			別紙 00-0026
スクラブ 控除	H2程度	338	kg			
換価格充当品	H2程度	9.7	t			
計						

仕分け 1 内訳

公開						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
建築工事	渡り廊下 直接仮設					
外部ステージ足場		1	式			別紙 00-0005
ステージ足場	単管パイプ下地組、鋼製足場板敷き 114日 修理費含む	155	m ²	4,910	761,050	
角形鋼管下地+ステージ	錆止め塗装共 運搬共	1	式			別紙 00-0006
副資材等	角形鋼管下地 取付金物、ボルト、消耗品等	1	式		70,000	
加工組立取付け・ 解体	角形鋼管下地+ステージ 錆止め塗装共 運搬共	1	式		321,000	
ステージ(角形鋼管下 地部)	単管パイプ、鋼製足場板敷き 114日 修理費含む	144	m ²	1,040	149,760	
仮設材運搬 ステージ(角形鋼管下 地部)	単管パイプ、鋼製足場板	144	m ²	150	21,600	
仮設架台	鉄骨架台 錆止め塗装共 運搬共	1	式			別紙 00-0007
副資材等	仮設架台 取付金物、ボルト、消耗品等	1	式		150,000	
加工組立取付け・ 解体	仮設架台 錆止め塗装共 運搬共	1	式		3,960,000	
仮設材運搬		1	式			別紙 00-0011
仮設材運搬 ステージ足場	単管パイプ、鋼製足場板	155	m ²	1,250	193,750	
建築工事	渡り廊下 防水改修 改修					
シーリング新設	ハット型ジョイナーシーリング部 MS-2 バックアップ材等共 30×10、20×10 ² ² ² 、15×10×2面	155	m	7,400	1,147,000	

仕分け 1 内訳

公開						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
シーリング新設	タフネシーリング部 MS-2 バックアップ材等共 20×10 ² ² ²	817	m	3,400	2,777,800	
シーリング新設	可動はしご支持金物台座カバー取合 カバー170×170 MS-2 バックアップ材共 ブランチ取合:25×10程度×両端 三角補強板+t5.0以上 ブランチ取合:5×10 ² ² ² カバー周囲:25×10程度	28	カ所	1,570	43,960	
建築工事	渡り廊下 外壁改修 撤去					
アルミパネル取外し	下部外壁パネル(垂直面) パネルは改修後再取付け	61.2	m ²	7,500	459,000	
アルミパネル取外し	下部外壁パネル(勾配面) パネルは改修後再取付け	71.9	m ²	7,500	539,250	
アルミパネル取外し	床裏パネル パネルは改修後再取付け	72.7	m ²	7,500	545,250	
アルミパネル下地アングル 撤去	下部外壁パネル下地アングル L-30×30×3 集積共	333	m	1,500	499,500	
アルミパネル下地アングル 撤去	床裏パネル下地アングル L-30×30×3 集積共	110	m	1,500	165,000	
EXP. Jカバ撤去	アルミ製 C=105 W=350 屋根-既存外壁 シーリング共 集積共	8.1	m	9,500	76,950	
EXP. Jカバ撤去	アルミ製 C=105 W=250 外壁-既存外壁(垂直面) シーリング共 集積共	11.4	m	9,500	108,300	
EXP. Jカバ撤去	アルミ製 C=105 W=250 外壁-既存外壁(勾配面) シーリング共 集積共	3.9	m	9,500	37,050	
EXP. Jカバ撤去	アルミ製 C=105 W=250 床裏-既存外壁 シーリング共 集積共	4.2	m	9,500	39,900	
建築工事	渡り廊下 外壁改修 改修					
岩綿吹付	岩綿脱落部(下部外壁パネル) 半湿式ロックール吹付 1時間耐火 t30 既存脱落部集積共	133	m ²	11,500	1,529,500	

仕分け 1 内訳

公開							
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
岩綿吹付	岩綿脱落部(床裏パネ) 半湿式ロックール吹付 1時間耐火 t30 既存脱落部集積共	36.3	m ²	11,500	417,450		
アルミパネ下地アングル 新設	下部外壁パネ下地アングル L-30×30×3	333	m	4,200	1,398,600		
アルミパネ下地アングル 新設	床裏パネ下地アングル L-30×30×3	110	m	4,200	462,000		
アルミパネ再取付け	下部外壁パネ(垂直面) 既存再利用	61.2	m ²	13,900	850,680		
アルミパネ再取付け	下部外壁パネ(勾配面) 既存再利用	71.9	m ²	13,900	999,410		
アルミパネ再取付け	床裏パネ 既存再利用	72.7	m ²	13,900	1,010,530		
可動はしご支持金 物台座カバー新設	アルミジョイントカバー t2.0 170×85×2 アルミアングル 2-L25×25×2 SUSボルトナットにて固定	28	カ所	12,800	358,400		
目地部 ハット型ジョイント新設	屋根目地部 FBカバーt2.0共	155	m	7,500	1,162,500		
メンテナンス梯子点検	レベル歪み状況確認 タテ稼働状況確認後、タテの交換及び 修理など	1	式		600,000		
EXP.カバー	ステンレス製 C=100±50 W=350 屋根-既存外壁	8.1	m	158,000	1,279,800		
EXP.カバー	ステンレス製 上部可動式小口タテ	4	カ所	125,000	500,000		
EXP.カバー	ステンレス製 C=100±50 W=250 外壁-既存外壁(垂直面)	11.4	m	148,000	1,687,200		
EXP.カバー	ステンレス製 C=100±50 W=250 外壁-既存外壁(勾配面)	3.9	m	148,000	577,200		
EXP.カバー	ステンレス製 C=100±50 W=250 床裏-既存外壁	4.2	m	98,000	411,600		
建築工事	渡り廊下 建具改修 改修						

仕分け 1 内訳

公開							
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考	
ガラス戸 網戸張替え	W1070×H1400 SUS 撤去・建付調整共	3	カ所	20,000	60,000		
ガラス戸 網戸張替え	W1070×H960 SUS 撤去・建付調整共	1	カ所	15,000	15,000		
建築工事	渡り廊下 内装改修 撤去						
点字タイル撤去	合成コルク製 300角 t2.0+5.0 集積共	1.7	m ²	1,120	1,904		
壁付手摺撤去	木製集成材φ40 手摺のみ撤去 集積共	70.3	m	560	39,368		
非常口プレート撤去	120×360 集積共	4	カ所	2,000	8,000		
EXP.カバー撤去	アルミ製 C=105 W=275 床-床 集積共	4.7	m	8,500	39,950		
EXP.カバー撤去	アルミ製 C=105 W=275 壁-壁 集積共	8.8	m	8,500	74,800		
EXP.カバー撤去	アルミ製 C=105 W=275 天井-天井 集積共	5	m	8,500	42,500		
建築工事	渡り廊下 内装改修 改修						
ビニル床シート	t2.5 ノンスリップ 一般	79.7	m ²	14,000	1,115,800		
ビニル床シート象嵌 階数表示	t2.5 ノンスリップ 一般 範囲1700×1500内 表示「2」 ビニル床シート共	1	カ所	15,000	15,000		
ビニル床シート象嵌 階数表示	t2.5 ノンスリップ 一般 範囲1700×1500内 表示「3」 ビニル床シート共	1	カ所	15,000	15,000		
点字タイル	合成コルク製 300角 t2.0+5.0	1.7	m ²	150,000	255,000		
木製巾木	なら t15 H75	69.4	m	8,500	589,900		

仕分け1 内訳

公開						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
壁 せっこうボード 張り (GB-R)	t12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 少量・僅少施工	56	㎡	2,160	120,960	
壁 ビニルクロス貼り	準不燃 石膏ボード面	56	㎡	2,510	140,560	
壁付手摺新設	木製集成材φ40 手摺のみ新設	70.3	m	12,000	843,600	
天井 ロックウール 化粧吸音板張り (DR)	フラット内部用 厚12 不燃 下張GB-R 厚 9.5共 少量・僅少施工	49.9	㎡	4,110	205,089	
天井廻縁	塩化ビニル製 少量・僅少施工	23.3	m	1,520	35,416	
壁 通気スリット	ガルバリウム鋼板t0.35	69.4	m	9,500	659,300	
天井 通気スリット	ガルバリウム鋼板t0.35 野縁25×19×0.5共	73.9	m	14,000	1,034,600	
非常口プレート	120×360	4	か所	5,000	20,000	
EXP. Jカハ-	ステンレス製 C=100±50 W=275 床-床	4.7	m	138,000	648,600	
EXP. Jカハ-	アルミ製 C=100±50 W=275 壁-壁	8.8	m	88,000	774,400	
EXP. Jカハ-	アルミ製 C=100±50 W=275 天井-天井	5	m	88,000	440,000	
建築工事	渡り廊下 塗装改修 改修					
全光型光触媒塗装	既存アルミ面(屋根パネル) 下地処理共	149	㎡	12,800	1,907,200	
全光型光触媒塗装	既存アルミ面(上部外壁パネル) 下地処理共	82.3	㎡	12,800	1,053,440	
全光型光触媒塗装	既存アルミ面(下部外壁パネル) 下地処理共	133	㎡	12,800	1,702,400	

仕分け1 内訳

公開						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4フッ化フッ素樹脂塗装	既存アルミ面(床裏パネル) 下地処理共	72.7	㎡	12,000	872,400	
炭素繊維混入モルタル 塗装	パネル下地アングル(下部外壁) 鉄鋼面 細幅物 新規面 下地調整RA種・錆止共	333	m	4,400	1,465,200	
炭素繊維混入モルタル 塗装	パネル下地アングル(床裏パネル) 鉄鋼面 細幅物 新規面 下地調整RA種・錆止共	110	m	4,400	484,000	
炭素繊維混入モルタル 塗装	ハット型ジョイナー新設部 鉄鋼面 細幅物(W20×H25程度) 下地ビス取替共 塗替え面 下地調整RB種・錆止共	155	m	4,100	635,500	
炭素繊維混入モルタル 塗装	ダブルシーリング部(外壁) 鉄鋼面 細幅物(W20×H25程度) 下地ビス取替共 塗替え面 下地調整RB種・錆止共	76	m	4,100	311,600	
UC塗り	木部 細幅物(巾木) 新規面 1-UC 木部 B種 下地調整RA種共 少量・僅少施工	69.4	m	590	40,946	
UC塗り	木部 細幅物(手摺) 新規面 1-UC 木部 B種 下地調整RA種共 少量・僅少施工	70.3	m	590	41,477	
EP-G塗り	鋼製建具面(防火戸) 塗替え面 工程B種 錆止工程C種 現場1回塗り 水系さび止め 下地調整RB種共 少量・僅少施工	28.8	㎡	1,160	33,408	
建築工事	渡り廊下 地業 杭					
鋼管杭	φ190.7 t7.0 L4000	8	組	98,900	791,200	

公開						
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
杭運搬費		1	式		55,000	
杭施工費		1	式		1,750,000	
建築工事	渡り廊下 外構 撤去					
枝払い	H3m 1本、H5m 1本 集積共	1	式		26,200	
建築工事	渡り廊下 外構 改修					
行政センター側 遊歩道舗装復旧	透水性自然石舗装 t10 開粒度アスコン t40 路盤 RC-40 t100 フィルター層 砂 t100	32.2	m ²	21,800	701,960	
市民プラザ側 遊歩道舗装復旧	シート舗装 再生密粒アスコン t50 路盤 RC-40 t100	35.5	m ²	19,400	688,700	
電気設備工事	渡り廊下 電気設備					
誘導標識板	高輝度蓄光式	4	個	7,120	28,480	
計					45,094,848	
共通仮設費(積上)						
地盤調査費		1	式		922,000	
仮設工事構造計算 費用		1	式		500,000	
					1,422,000	